

# 教育先進都市 神戸を目指して

教育界の現状の課題と解決に向けて:Part2

2022年6月30日

株式会社T.I.E

株式会社首都圏中学模試センター

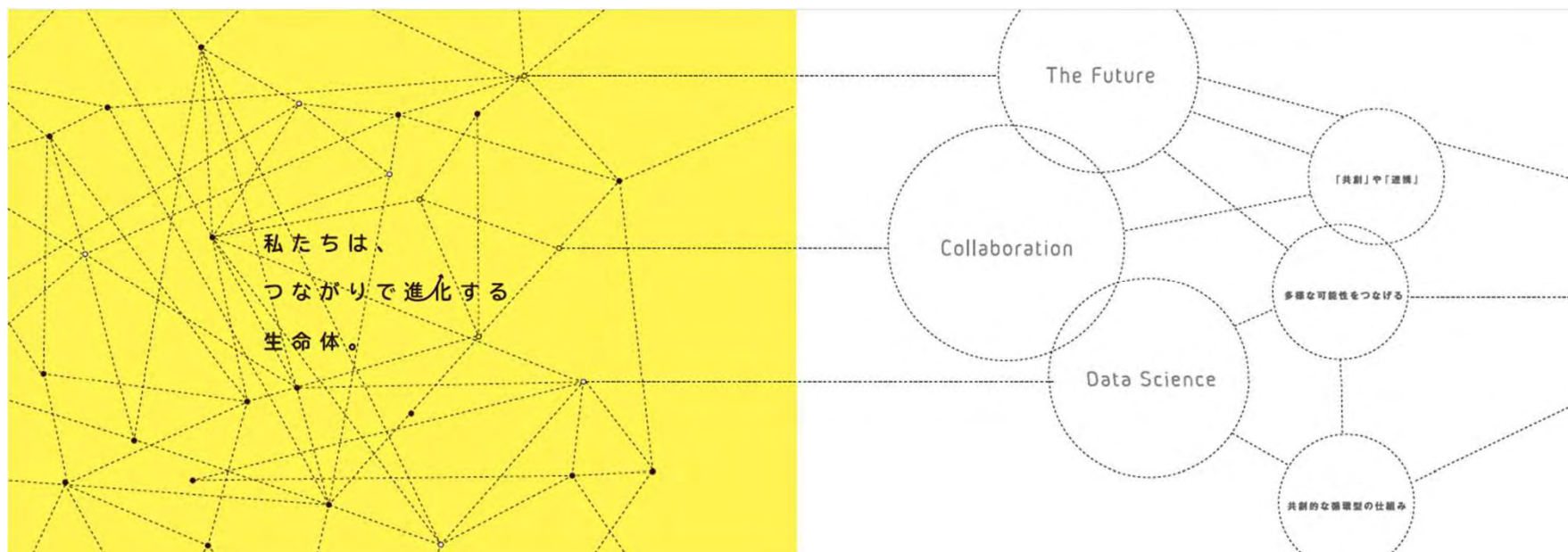
# 首都圏模試センターの強みは！？

- ☆ ネットワーク力
- ☆ 情報収集力
- ☆ 情報発信力
- ☆ 思考コード(新しい評価軸)

首都圏模試センターは、首都圏を中心とした中学受験のための模擬試験実施していますが、特定の塾によらない中立的な組織を目指して様々な塾が株主になって設立されました。

現在は、模擬試験だけではなく、先進的な学校の取り組みや授業を取材・研究し、学校へのコンサルティングやセミナーも行っています。2020年度の大学入試改革に伴い、小中高の教育内容が大きく変化する中、思考コードという偏差値に代わる新しい評価軸を開発、大学入試改革で求められる力やこれからの社会で求められる力を評価できるようになりました。

一人ひとりの子どもの可能性を信じ、先進的な教育を応援する活動を積極的に行っています。



# 報告の内容

## 1. 調査の目的

2. Part.1の振り返り

3. 教育先進都市・神戸としてふさわしい教育とは？

4. 中高一貫校とは？

5. 中高6年間一貫教育の魅力と特質とは？

6. 公立中高一貫教育校を立ち上げるために考える大事なこと

## (調査目的)

◇ 前回の調査で多くの自治体が先進的な学校の設立／教師人材の育成を行っている事例、新たな評価軸に沿った公立校の事例を中心に発表をした。

◇ 本調査の趣旨／その意義は、神戸の都市としての魅力を高めるためである。

そのためには、「子供たちへの教育」は大きなテーマであり、そのための教育インフラの充実は自治体行政の大きな命題である。パート1で取り上げた先進的な教育の事例から多くを学ぶことは重要な取り組みである。

◇ 「中高一貫校の設立」「ICT教育」「課題解決型/探究型授業」その中で求められる教師の力」「採用試験の在り方」「人材の養成」・・・など**在るべき先進型の教育**について、神戸市としてどう対応するか、さらに深掘りすることはパート2で必須である。

一方で、このような先進的な取り組みを実現するためには多くのハードルがあったはずである。特に「公平/平等」を旨とする公立教育の中で既存の体制を見直し、先進な取り組みを行う上では様々な拒否感、反対の動きがあったはずである。そのような意見/動きにどのように対応し、実現に至ったか、その道程についても市政/行政を行う上で大きな参考になりたい。

◇ 上記の通りパート2においては、パート1での先進的な取り組みから抽出される要素をいかに神戸市の教育に生かすか、とりわけ教員の採用や人材育成面での問題点、教育インフラの充実に向けた提言を行うとともに、先進的な教育制度を導入する上で合意形成をいかに行ったかを取材し、今後の参考とする。

# 報告の内容

1. 調査の目的

2. Part.1の振り返り

3. 教育先進都市・神戸としてふさわしい教育とは？

4. 中高一貫校とは？

5. 中高6年間一貫教育の魅力と特質とは？

6. 公立中高一貫教育校を立ち上げるために考える大事なこと

# Part.1の 振り返り

(調査目的)

## 1. 前提

- ・教育の大変革期にあって、小学生の学力を上げるにはどのようにしたら良いか？
- ・今後の教員採用試験や人材育成はどうあるべきか？
- ・神戸市としてはどのように対応すべきか？

パート1では日本全体の動きと視点から調査。

- ・大きく変わろうとしている社会の変化と教育
- ・Society5.0とGIGAスクール構想
- ・学習指導要領の改訂について
- ・大学入学者選抜改革について
- ・全国における神戸市の教育レベルと課題
- ・これから必要とされる教師の力は何か？
- ・地方自治体の行政として何が出来るのか？
- ・地方自治体の行政として成功事例

パート2では神戸市にフォーカスした調査を行う：期間2022年4月～6月

- ・求められる教師の力
- ・教員採用試験 神戸にフォーカスした現状を紹介 どんな力を測っているのか
- ・教員採用試験の新たな取り組みは？ 自治体行政が出来ることは何か？
- ・人材の養成 成功している私立や他の自治体の事例
- ・神戸市への提言

# Society 5.0で実現する社会

## これまでの社会

必要な知識や情報が共有されず、新たな価値の創出が困難



IoTで全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、新たな価値が生まれる社会

## これまでの社会

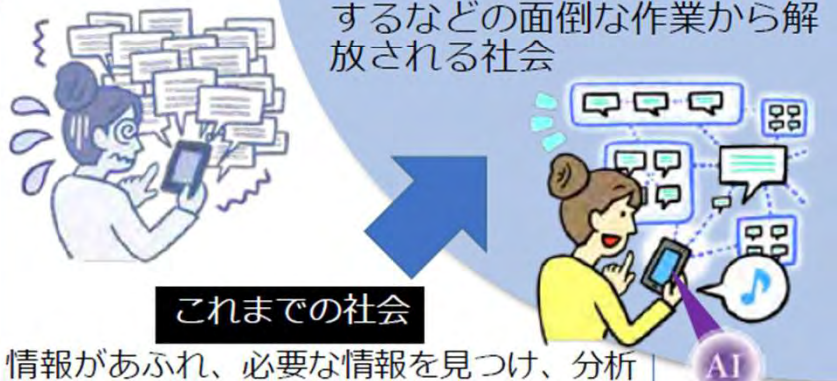
少子高齢化や地方の過疎化などの課題に十分に対応することが困難



少子高齢化、地方の過疎化などの課題をイノベーションにより克服する社会

## Society 5.0

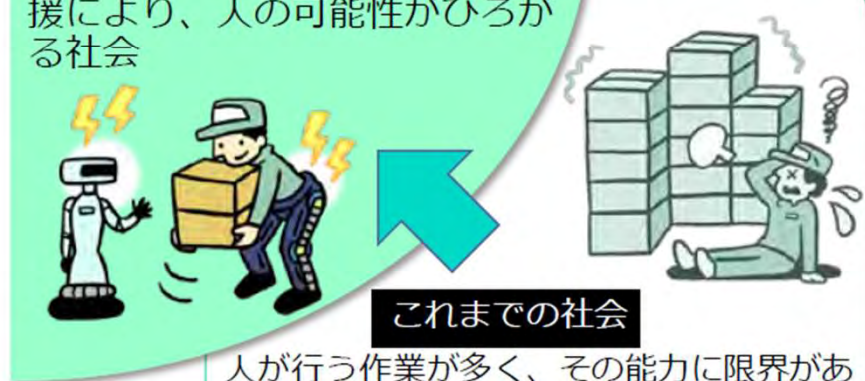
AIにより、多くの情報を分析するなどの面倒な作業から解放される社会



## これまでの社会

情報があふれ、必要な情報を見つけ、分析する作業に困難や負担が生じる

ロボットや自動運転車などの支援により、人の可能性がひろがる社会



## これまでの社会

人が行う作業が多く、その能力に限界があり、高齢者や障害者には行動に制約がある

# 大きな転機を迎えた日本の教育の背景

将来の社会が変わる

↓

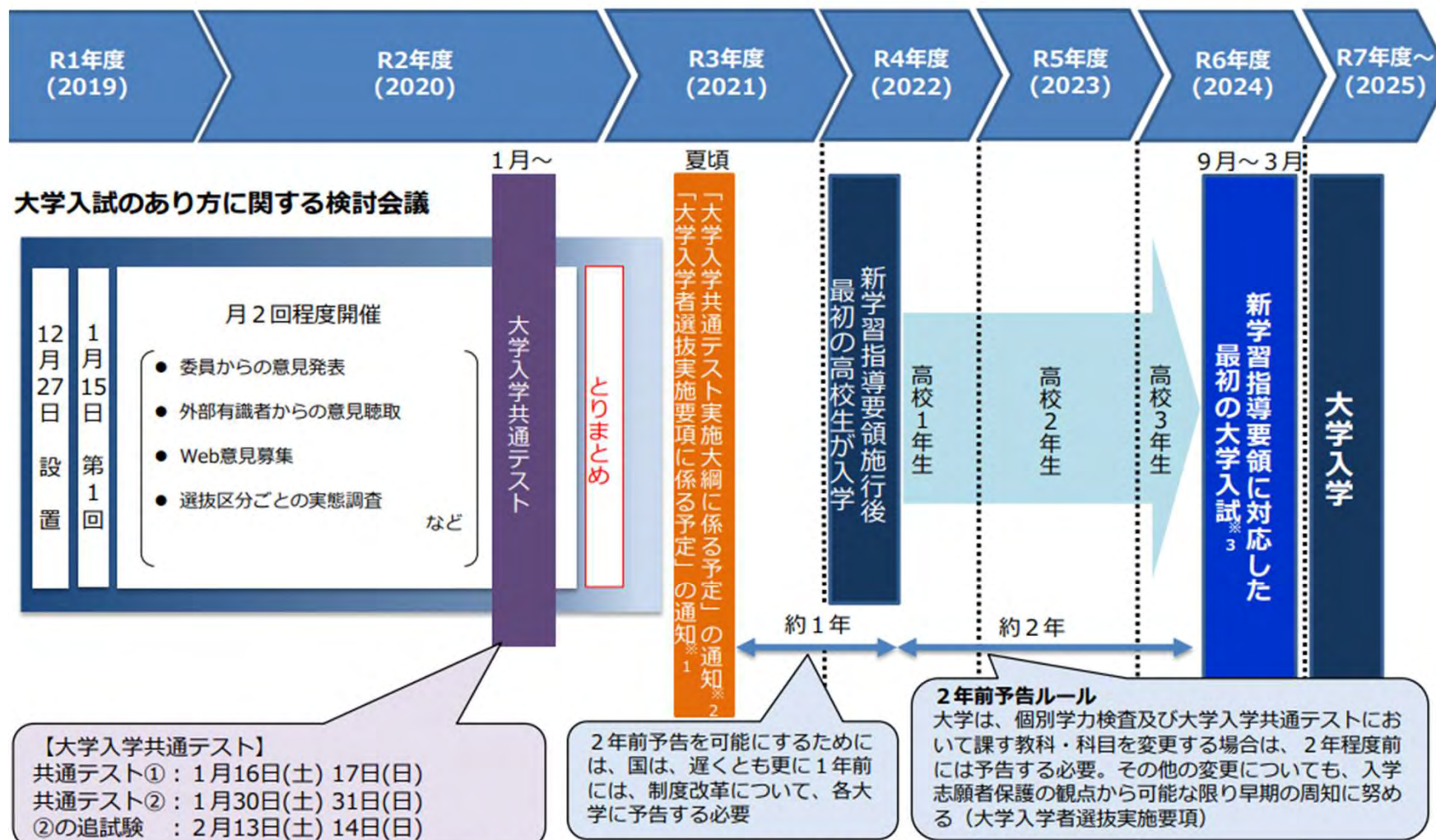
大学入試が変わる

↓

日本の教育が変わる



## 令和6（2024）年度実施の大学入試に向けたスケジュール



### 【大学入学共通テスト】

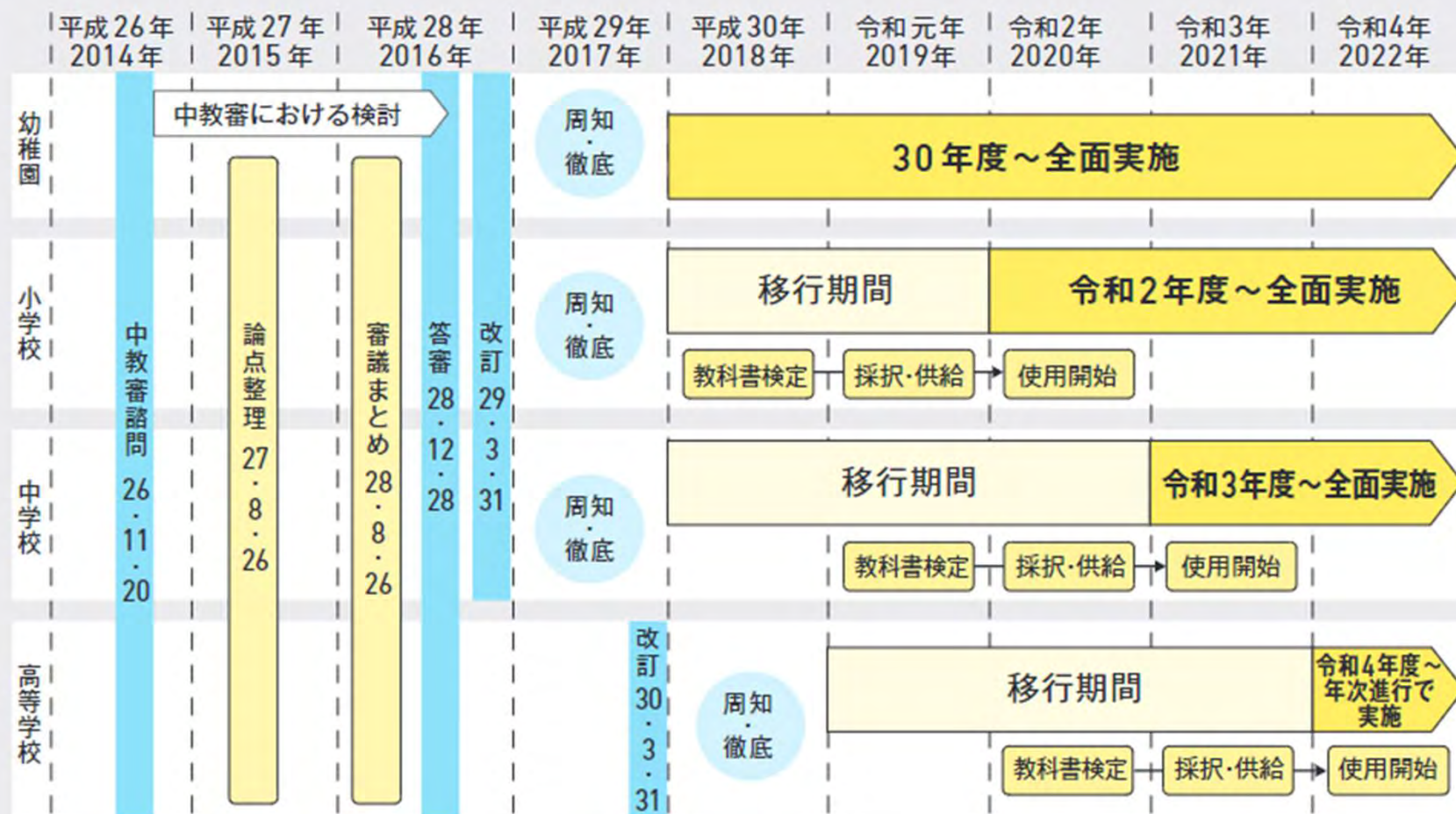
共通テスト①：1月16日(土) 17日(日)  
共通テスト②：1月30日(土) 31日(日)  
②の追試験：2月13日(土) 14日(日)

※1 実際の大学入学者選抜実施要項は、入試実施年度の6月頃に文部科学省より通知

※2 実際の大学入学共通テスト実施大綱は、入試実施の前年度の6月頃に文部科学省より通知

※3 総合型選抜：9月以降出願 学校推薦型選抜：11月以降出願 大学入学共通テスト：1月 一般入試：

## 学習指導要領改訂に関するスケジュール



特別支援学校学習指導要領（幼稚部及び小学部・中学部）は、平成29年4月28日に改訂告示を公示。  
特別支援学校学習指導要領（高等部）は、平成31年2月4日に改訂告示を公示。

（出典：文部科学省ホームページ「平成29・30年小学校学習指導要領改訂」より）

## 「高大接続改革」の必要性

- 国際化、情報化の急速な進展



社会構造も急速に、かつ大きく変革。

- 知識基盤社会のなかで、新たな価値を創造していく力を育てることが必要。

- 社会で自立的に活動していくために必要な「学力の3要素」をバランスよく育むことが必要。

### 【学力の3要素】

- ① 知識・技能の確実な習得

- ② (①を基にした)

思考力、判断力、表現力

- ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

学力の3要素を  
多面的・総合的に評価する

### 大学入学者選抜

高等学校教育・大学教育・大学入学者選抜の一体的改革

## 高大接続改革

学力の3要素を育成する

### 高等学校教育

高校までに培った力を  
更に向上・発展させ、  
社会に送り出すための

### 大学教育

# 教育再生実行会議 第十二次提言概要

## 「ポストコロナ期における新たな学びの在り方について」(令和3年6月3日)

### ニューノーマルにおける教育の姿

- 一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ(ウェルビーイング)の実現を目指し、学習者主体の教育に転換
  - デジタル化を進め、データ駆動型の教育に転換。学びのデータ(学習面、生活・健康面、教師の指導面)の活用
- 【意義】①子供：学びの機会や質の充実 ②教師：指導方法の充実や働き方改革 ③行政：現状把握に基づく政策立案

### 1. ニューノーマルにおける初等中等教育の姿と実現のための方策

#### (1) ニューノーマルにおける新たな学びに向けて～データ駆動型の教育への転換～

##### ①一人一台端末の本格運用に係る環境整備

- 安全・安心に端末を取り扱うための手引の策定・周知
- 個人情報保護制度の見直しを踏まえた学校教育上の取扱いの明示

##### ②データ駆動型の教育への転換による学びの変革の推進

- 学習状況のデータを管理するマネジメントシステムの活用促進
- 同時双方向やオンデマンドによる授業モデルの展開

##### ③学びの継続・保障のための方策

- 学校でも家庭でも継続して学習できるオンライン学習システムの全国展開
- 不測の事態でも、学校と児童生徒の関係を継続し、学びを保障する取組の推進
- 小学校との連続性を意識した幼児教育推進体制の充実・強化

##### ④学びの多様化等

- 高校生が大学の講義を学ぶ「先取り履修」の推進
- 大学への飛び入学者への高校卒業資格付与<従来、大学中退の場合、中卒扱い>

#### (2) 新たな学びに対応した指導体制等の整備

##### ①少人数によるきめ細かな指導体制・施設設備の整備

- 小学校35人学級の効果検証等を踏まえ、中学校を含め望ましい指導体制の検討
- 新たな学校施設の在り方(令和の学校施設スタンダード)の明確化

##### ②教師の質の向上、多様な人材の活用等

- 教員免許制度、教員養成大学・教職課程等の総合的な見直し
- 教員免許更新制の改革、特別免許状の見直しなど多様な人材確保策

### 2. ニューノーマルにおける高等教育の姿、国際戦略と実現のための方策

#### (1) ニューノーマルにおける高等教育の姿

##### ①遠隔・オンライン教育の推進

- ハイブリッド型教育の推進、MOOCや大学間連携などリソースの共有・有効活用
- 単位数上限算定の考え方の明確化、質保証システムの在り方の見直し

##### ②教学の改善等を通じた質の保証(「出口における質保証」)

- 「教学マネジメント指針」に基づく密度の高い組織的な大学教育の展開

##### ③学びの複線化・多様化

- 高校時代に取得した大学の単位数に応じ、修業年限を柔軟化
- 産学連携による職業教育機能の強化、リカレント教育の充実

##### ④デジタル化への対応

- 学修歴証明書の普及、学修管理システムによる学修データを活用した教育改善
- さらに、⑤学生等への支援の充実、⑥大学等の施設・設備の整備の推進

#### (2) グローバルな視点での新たな高等教育の国際戦略

##### ①グローバル化に対応した教育環境の実現、学生のグローバル対応力の育成

- 国際連携教育課程(JD)の一層の普及促進
- 高校段階からの海外留学促進、「トビタテ!留学JAPAN」の後継事業の実施

##### ②優秀な外国人留学生の戦略的な獲得※技術流出防止等に十分に配慮

- 国際バカロレア(IB)などの成績を用いた特別入試の実施
- 頭脳循環の拠点となる大学での優秀な留学生の獲得に資する制度の検討

##### ③学事暦・修業年限の多様化・柔軟化と社会との接続の在り方

- 大学等の国際化や学びの多様化に対応した秋季入学・4学期制や早期卒業・修了の推進、秋採用や最終学年6月以降の通年採用の推進・情報発信

### 3. 教育と社会全体の連携による学びの充実のための方策

#### (1) 大学等における入学・卒業時期の多様化・柔軟化の推進

##### 【今後の望ましい在り方】

- 全ての学校種で一律に秋季入学へ移行するのではなく、まずは大学等における入学・卒業時期の多様化・柔軟化のため必要な支援を実施  
(例：ギャップタームの成果の普及、定員管理や授業料の在り方の整理)
- 産業界における採用・雇用慣行の改革と併せた取組の推進・情報発信  
(例：秋採用・最終学年6月以降の通年採用)
- これらの取組状況や検証等を踏まえ、初等中等教育段階も含め更に議論

※初等中等教育段階での秋季入学への移行は、児童生徒の一時的急増による教師・施設の確保、社会への影響、幼稚園の教育・運営への影響、教育現場に更なる負荷がかかるため、国民や社会の十分な理解と協力が必要

#### (2) 子供の育ちを社会全体で支えるための取組

##### ① 子供たちの創造的な活動を支援するための学校・家庭・地域や企業の取組

- 「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的推進・取組支援
- 図書館・公民館など社会教育施設におけるICTの有効活用

##### ② 新たな働き方やワーク・ライフ・バランスの推進等

- 教育に大人が関わりを持てるようにする観点からもテレワークを更に推進
- 年次休暇の取得、時間単位の年次休暇制度の導入の好事例の紹介

### 4. データ駆動型の教育への転換～データによる政策立案とそのための基盤整備～

- 様々な教育データを活用し、現状把握と効果的な教育政策を立案・実施  
学びのデータ（学習面、生活・健康面、教師の指導面）を多様な場面で活用
- 国において、司令塔となる組織の強化を図るなど、抜本的に改革

#### データによる政策立案

- 教育の特性を踏まえたEBPMの手法・課題の整理
- データの紐づけ、長期的な縦断調査、教師のデータの調査、実証分析の活用を検討

#### 教育データ基盤の整備

- ユニバーサルIDや認証基盤の検討（マイナンバー制度の活用を含む）  
※転校時等の教育データの持ち運び等の方策も検討
- 安定的なデータ流通の検討

#### 調査・分析・研究体制

- 調査やEBPMを統括する体制や人員の強化
- 文部科学省・国立教育政策研究所と大学等との連携により、教育データの分析・研究に関する機能の構築
- 公的な教育データプラットフォームの在り方、個人が自身の様々なデータを集約・活用できる仕組みの検討
- 教育と福祉などの幅広い分野とのデータの連携による児童生徒への支援

#### 今後に向けて

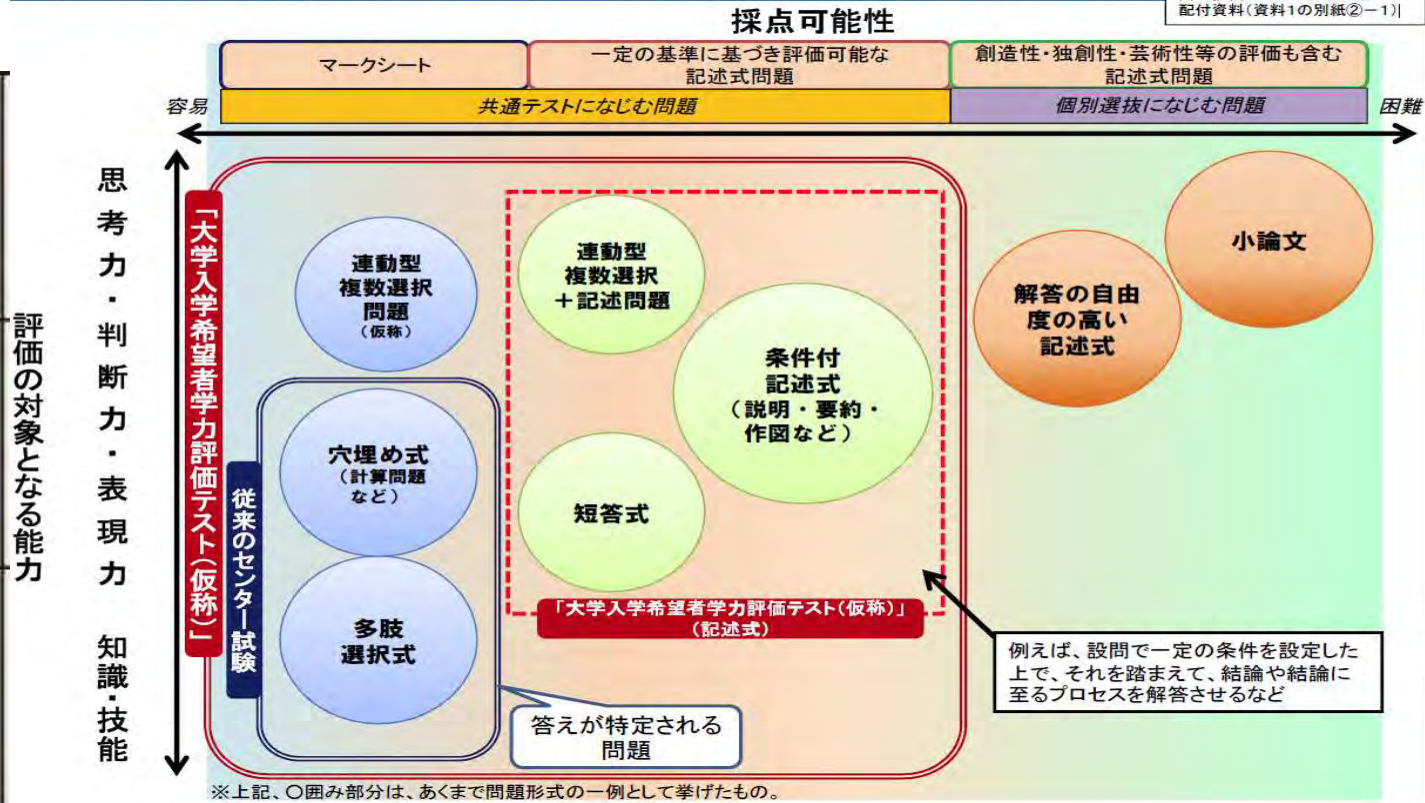
- 提言内容の速やかな実行とフォローアップの実施が必要
- 今後、さらに、①高大接続の望ましい在り方、②教師の質の向上や多様な人材の活用のための方策、③対面指導と遠隔・オンライン教育の在り方、④データ駆動型の教育への転換のための取組について掘り下げた検討が必要

## 5. 地方自治体の行政として何が出来るのか？

### 今後の教員採用試験と人材育成の在り方

- ①神戸市としての理想の教師像を明確化  
(評価軸をつくる)
- ②新学習指導要領と神戸市の描く理想の教師の力を測る評価軸を基に教員採用試験を設計
- ③評価軸を基に教員研修を設計

変換 操作	全体 関係	変容 3
複雑 操作	カテゴライズ	複雑 2
手順 操作	単純 関係	単純 1
(数)	(言語)	



<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>
知識・理解思考	論理的思考	創造的思考
知識・理解	応用・論理	批判・創造

## 私立学校のこれからの研修をデザインするための 「研修コード」

現在、研修をデザインする時の基準である「研修コード」を研究所のメンバーと作成しています。東私教研で開発中の「研修コード」(【図3】参照。コードは未完のもので、作成途中のもの)は、大学の教授などの専門家による情報提供、先進的な事例ケースの共有以外に、参加したメンバーで、創造性を養う授業やその授業を評価する方法を共創するところまでデザインしていきます。

【図3】研修コード「〇〇教育研究会」東京私学教育研究所開発例

メタ認知的知識	生徒の年代や学力に合わせた 〇〇教育の在り様について述べなさい A3	未来社会との関係の中で考えたとき、何が〇〇教育に求められると考えますか？ B3	新しい〇△□教育を考案しなさい C3
遂行的知識	〇〇教育の実践例を挙げて、その方法や理由について説明しなさい A2	〇〇教育を実践している中で、何について学びたいですか？ B2	〇〇教育を通して、社会の抱える課題やよりよい未来を創造するアイデアを考案しなさい C2
事後的知識	〇〇教育が果たすべき役割について述べなさい A1	学校（教育現場）での〇〇教育の状況（実情）についてどう思いますか？ B1	〇〇教育が、生徒の将来（社会の創造性）に役立っている例を挙げ、その理由を述べなさい C1
認知の次元／認知プロセス面 → 認知が働く場所や状況（その思考を基に実践する場所）			
知識・理解 (学校 / 事実)		応用・論理 (学校と研修 / 現実と理想)	批判・創造 (社会 / 将来と未来)



## 5. 地方自治体の行政として何が出来るのか？

平均点を上回った下回ったよりも

- 神戸市としてどのポジション(全国の中での)を目指すのか？
- どのような子供たちを育てたいのか？

# 公立中高一貫校の開校



横浜市立  
南高等学校附属中学校  
Junior High School Attached To Minami High School

ホーム PTA 入学案内

- 校長あいさつ
- 教育方針
- 本校の特色
- 附属中の一年間
- 行事予定
- 学年だより
- 附属中日記
- 部活動
- 施設紹介
- 学校規模・予算
- 制服・校章・校歌
- アクセス
- 災害時の対応
- いじめ防止基本方針



**本校の受検をお考えの皆様へ**

2022/02/03

**合格発表・入学手続・簡易開示について**

詳細は以下をご覧ください（適性検査終了後に受検生に配布した資料です）

[合格発表・入学手続・簡易開示のお知らせ \[212KB pdfファイル\]](#)

**お問い合わせ**

233-0011  
横浜市港南区東永谷二丁目1-1  
電話：045-822-9300  
FAX：045-822-2876  
地図：[アクセス](#)

@yokohama\_kyouiさんのツイート

**横浜市教育委員会**  
@yokohama\_kyoui

【二十歳の市民を祝うつどい実行委員募集！】令和4年度に二十歳を迎える市民の皆様、一生に一度の機会、日本最大級の二十歳を祝う式典の企画・運営に参加しませんか？委員会活動に積極的にご参加いただける方のご応募をお待ちしています。締切：5月8日  
city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo...  
【生涯学習文化財課】

二十歳の...  
city.yokoh...

# 報告の内容

1. 調査の目的
2. Part.1の振り返り
3. 教育先進都市・神戸としてふさわしい教育とは？
4. 中高一貫校とは？
5. 中高6年間一貫教育の魅力と特質とは？
6. 公立中高一貫教育校を立ち上げるために考える大事なこと

## 神戸2025ビジョンとは？

2025年度に向けた神戸の目指すまちの姿を示すとともに、その実現に向けた施策をまとめたものです。

### ビジョンのテーマ (P.3)

# 「海と山が育むグローバル貢献都市」

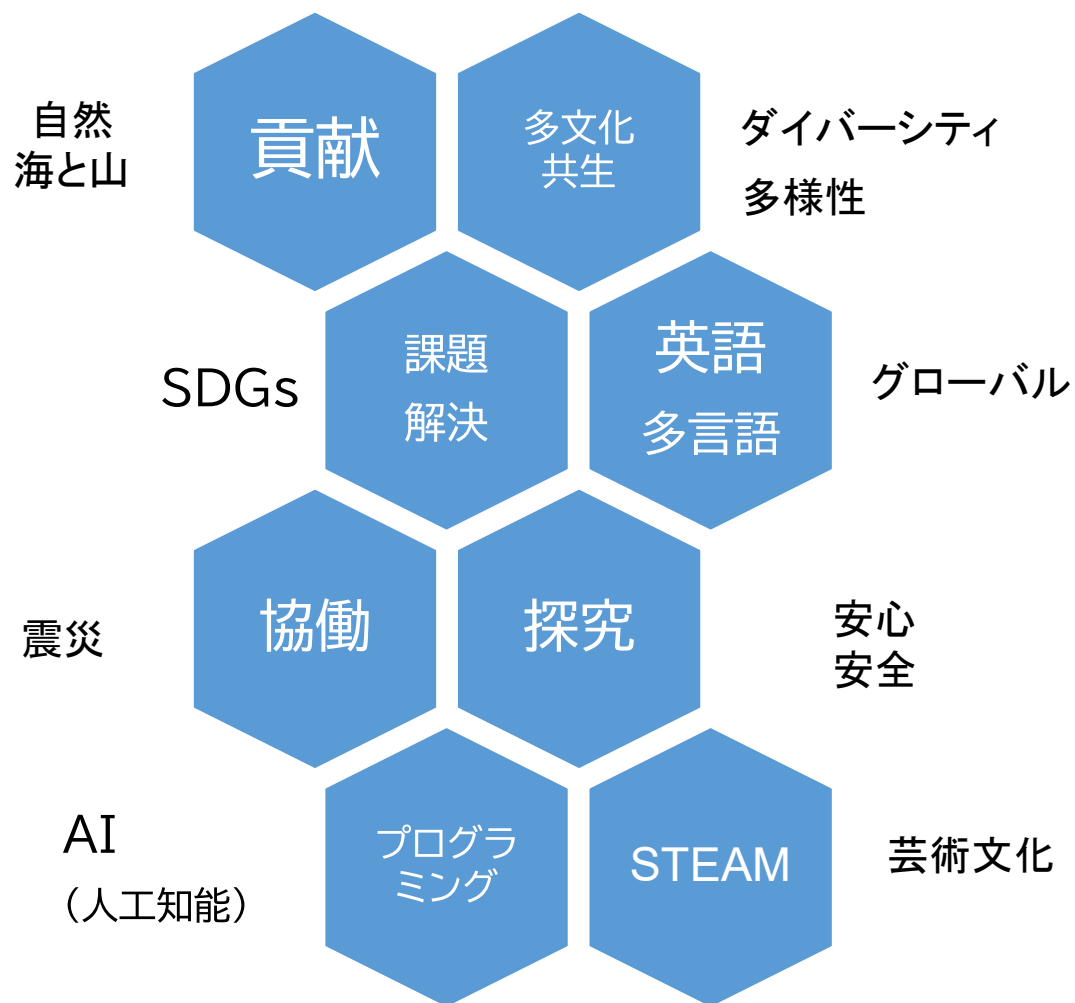
豊かな自然環境、国際性や多様性、芸術文化といった神戸の強みを活かしながら、震災を経験し、乗り越えてきたまちとして、利他の思いを醸成し、広げていくとともに、環境保全などグローバルに貢献するまちづくりを進め、市民一人ひとりが安心安全で心豊かに幸せを実感できる都市をめざします。

## 基本的な考え方 (P.3)

次の6つの「基本的な考え方」を踏まえ、ビジョンの推進にあたります。

- ・豊かな自然と文化,多様な価値観が融合する神戸の強みを磨き,活かした新たな価値・スタイルを創造する
- ・人口減少時代に向き合い,神戸のまち・くらしの質を高め,成熟都市の魅力を訴求し,好循環へ転換する
- ・神戸に住み,働き,学び,楽しみ,あらゆる関係者が幸福を実感するまちを実現する
- ・ダイバーシティ\*推進やジェンダー\*平等の視点を確保し,女性が活躍できる環境を整え,外国人市民をはじめとした多様な市民の参画による多文化共生社会を実現する
- ・震災から再起した市民の知恵・気風を活かし,あらゆる危機への備え,誰一人として取り残さず,人を大切に作る安心・安全なまちを実現する
- ・テクノロジーの実装・デジタル化の加速による市民生活の豊かさと利便性向上,経済活動の回復・成長,環境貢献など,SDGsの達成による持続可能な都市を実現する

# 教育先進都市・神戸としてふさわしい教育とは？



## 【愛知県】

### 県立高等学校への併設型中高一貫教育制度の導入の可能性の検討について

愛知県教育委員会では、2021年12月に策定した「県立高等学校再編将来構想」に基づき、現在、県立高校の統合や新たなタイプの学校づくり、商業高校のリニューアルなど、**県立高校の魅力化・特色化、再編に向けた取組**を進めています。

この再編将来構想の策定に当たっては、学校や地域の教育関係者から様々な意見・提案をいただきましたが、その中で、**地域の特性にあった中高一貫校の設置**について提案があり、構想策定後、こうした提案を踏まえ、本県における県立中高一貫教育制度の導入について、検討を行ってきました。

中高一貫教育制度については、1999年に国において制度が創設されて以来、**全国では既に41都道府県の公立学校において導入され、生徒の自主性や個性を伸ばし、社会性や人間性を育成するための特色ある教育が各地で進められています。**

また、2022年度から高校で実施される学習指導要領のねらいなどにも示されているとおり、**これからの教育には、生徒の探究心に応える「深い学び」を通して、一人一人の個性や能力を引き出し、最大限に伸ばしていくことが求められています。**

そこで、本県においても、県立高校に県立附属中学校を併設し、6年による一貫した教育を行う、中高一貫教育制度の導入の可能性について、速やかに検討を行う必要があると考えます。

なお、県立高校における中高一貫教育の具体的な内容については、今後、設置する検討委員会において協議を進めていきます。

## 【愛知県】 県立高等学校への併設型中高一貫教育制度の導入の可能性の検討について

### (2) 本県における中高一貫教育導入のねらい

本県における中高一貫教育導入のねらいとしては、ゆとりのある計画的・継続的な教育指導と、中学1年生から高校3年生までの異年齢集団による活動を通して、以下のような教育を進めていくことが考えられます。

#### 「自分らしさの探究、創造・挑戦」

##### ア 新しい時代のイノベーションを創出する人材の育成

パラダイムシフト<sup>(※)</sup>が進む変化の激しい社会にあっても、様々な課題の解決に向けて創造・挑戦し、新しい世界を切り拓いていくことができる、これからのあいちや日本、世界を担う人材を育成します。

##### イ 知るを楽しみ、自らを高めていく

より深く学びたい、自分の興味・関心を突きつめたいといった、知的好奇心や探究心を引き出し、自ら学び、発展的に考える姿勢や態度を育成することで、一人一人の個性や能力を最大限に伸ばしていきます。

##### ウ 豊かな人間性と社会性の育成（ダイバーシティとSDGsの尊重）

自分の個性に誇りを持つとともに、お互いの個性を尊重し、多様な人々と協働しながら、持続可能な社会づくりに向けて行動できる人材を育成します。

※パラダイムシフト：その時代や分野において当然のことと考えられていた認識や思想、社会全体の価値観などが革命的にもしくは劇的に変化すること。



## 【愛知県】 県立高等学校への併設型中高一貫教育制度の導入の可能性の検討について

### 3 中高一貫教育の具体化に向けた検討について

#### (1) 検討委員会の設置

「県立高等学校再編将来構想」においては、取組の検証と更なる取組の具体化を協議するために、小中・県立高校関係者による「**県立高等学校再編将来構想具体化検討委員会**」を継続的に設置することとしています。

この**委員会（親会議）**の下に、部会として、「**中高一貫教育導入検討部会（仮称）**」を設置し、第一次導入候補校における導入の可否及び具体的な枠組、第二次以降の導入の候補となる学校について、検討していきます。また、これからの地域社会を支えていく人材の育成をめざす「**地域密着型**」の**中高一貫教育の導入**についても検討し、生徒の多様な教育ニーズに応える学校づくりを進めます。

あわせて、別の部会として「**新しい時代に対応した定時制・通信制教育の在り方検討部会（仮称）**」を設置し、中学校の学び直しや外国人生徒への対応等、現代的な教育課題に対応した定時制通信制教育の充実方策についても、同時に検討していきます。

検討に当たっては、必要に応じて、**外部有識者から意見聴取**を行います。

#### (2) 今後のスケジュール

2022年 4月 検討委員会と部会を設置

5月～10月 第一次導入候補校における導入の可否、具体化検討、  
中学校の施設整備に向けた準備

11月 「中高一貫教育導入計画（仮称）」案公表、パブリックコメント実施

12月 「中高一貫教育導入計画（仮称）」策定

（協議の進捗状況により、スケジュールは変更することがあります。）

# 市立札幌開成中等教育学校

## Welcome to Sapporo Kaisei Secondary School



中高一貫教育校が中学校と高校の橋渡しを行い、**さまざまな成果を共有し、互いに高め合う**取り組みを推進

中学校段階と高校段階の連続性を意識した実践研究

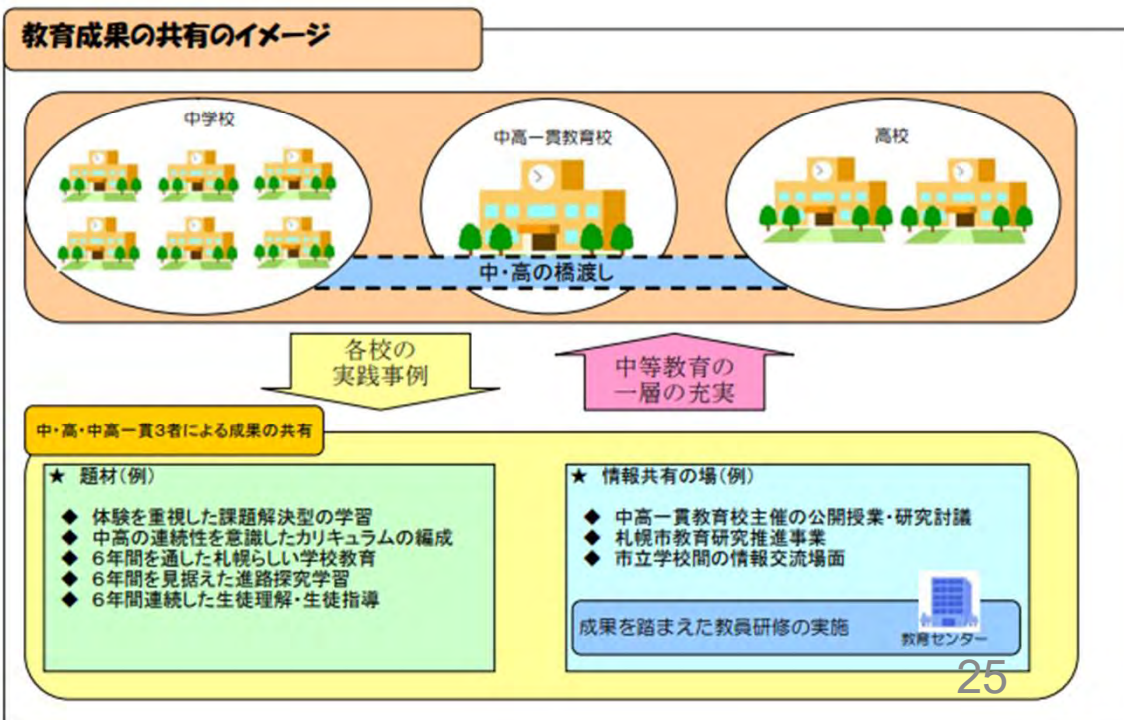
### 3 他の中学校・高校との教育成果の共有

中高一貫教育校においては、中学校教員と高校教員が共に協力しながら教材研究や学習指導を行うことにより、中学校段階と高校段階の連続性を意識した実践研究を行うことができます。

例えば、中高一貫教育校における授業公開や札幌市教育研究推進事業<sup>25</sup>、あるいは市立学校間の情報交流の機会等を通して、中高一貫教育校の取組を題材に市立中学校・高校も含めて、実践事例を持ち寄り、成果を共有することで、札幌市全体で推進している体験を重視した課題解決型の学習や発達段階に応じた進路探究学習などを更に充実したものにできると考えます。

加えて、その成果を札幌市教育センター<sup>26</sup>が実施する教員研修などでも活用していくことを想定しています。

以上のように中高一貫教育校が、中学校・高校の橋渡しを行い、中高一貫教育校を含めた3者が、様々な成果を共有し、互いに高め合う取組を推進することにより、札幌市の中等教育の一層の充実を図っていきます。



## 政令指定都市が、先進的な教育を実践する為の公立中高一貫校の設置状況

### 政令指定都市一覧（20市）

No.	都道府県	都市名	人口	面積	人口密度	公立中高一貫校の設置状況
1	神奈川県	横浜市	3,775,352	437.78	8,623.86	横浜市立南高等学校附属中学校、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校
2	大阪府	大阪市	2,750,835	225.33	12,208.03	咲くやこの花中学校、
3	愛知県	名古屋市	2,325,916	326.5	7,123.79	名古屋大学教育学部附属中学校
4	北海道	札幌市	1,973,329	1,121.26	1,759.92	札幌市立札幌開成中等教育学校
5	福岡県	福岡市	1,619,585	343.46	4,715.50	※なし
6	神奈川県	川崎市	1,540,340	142.96	10,774.62	川崎高等学校附属中学校
7	兵庫県	神戸市	1,517,073	557.03	2,723.50	※なし
8	京都府	京都市	1,453,956	827.83	1,756.35	京都市立西京高等学校附属中学校、京都府立洛北高等学校附属中学校
9	埼玉県	さいたま市	1,332,196	217.43	6,127.01	さいたま市立浦和中学校
10	広島県	広島市	1,196,222	906.69	1,319.33	広島中等教育学校
11	宮城県	仙台市	1,097,237	786.35	1,395.35	仙台青陵中等教育学校、宮城県立仙台二華中学校
12	千葉県	千葉市	978,021	271.76	3,598.84	千葉県立千葉中学校
13	福岡県	北九州市	931,551	491.71	1,894.51	福岡県立門司学園中学校
14	大阪府	堺市	821,598	149.83	5,483.53	※なし
15	静岡県	浜松市	786,787	1,558.06	504.98	静岡県立浜松西高等学校中等部、浜松市立佐久間中学校、浜松市立水窪中学校
16	新潟県	新潟市	784,251	726.27	1,079.83	高志中等教育学校
17	熊本県	熊本市	738,185	390.32	1,891.23	※なし
18	神奈川県	相模原市	725,924	328.91	2,207.06	相模原中等教育学校
19	岡山県	岡山市	721,922	789.95	913.88	岡山県立岡山操山中学校、岡山県立岡山操山中学校
20	静岡県	静岡市	688,625	1,411.83	487.75	静岡県立清水南高等学校中等部

# 報告の内容

1. 調査の目的
2. Part.1の振り返り
3. 教育先進都市・神戸としてふさわしい教育とは？
4. 中高一貫校とは？
5. 中高6年間一貫教育の魅力と特質とは？
6. 公立中高一貫教育校を立ち上げるために考える大事なこと

## (中高一貫校とは?)

### 中高一貫教育制度について

子供たちの進路選択の幅を広げ、学校制度の複線化構造を進める観点から、中高6年間の学校生活の中で、計画的・継続的な教育課程を展開することにより、生徒の個性や創造性を伸ばすことを目的として、1998年に学校教育法等が改正され、1999年度から、中高一貫教育制度を選択的に導入することが可能となっています。

### 中高一貫教育の実施形態

生徒や保護者のニーズ等に応じて、設置者が適切に対応できるよう、実施形態が3つに分かれています。

#### 1. 中等教育学校

一つの学校として、一体的に中高一貫教育を行う。

#### 2. 併設型の中学校・高校

高等学校入学者選抜を行わずに、同一の設置者による中学校と高等学校を接続。

#### 3. 連携型の中学校・高校

市町村立中学校と県立高校など、異なる設置者間でも実施可能な形態で、中学校と高校が、教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深める形で中高一貫教育を実施。

(中高一貫校とは?)

### 各都道府県別 公立併設型・中等教育学校の設置状況(2021 年度学校基本調査)

公立の併設型中高一貫教育校は38 都府県で、中等教育学校は16 都道府県で、それぞれ設置されています。全体として、41 都道府県の公立学校で中高一貫教育が導入されています。

#### 1. 中等教育学校

一つの学校として、一体的に中高一貫教育を行う。

#### 兵庫県立芦屋国際中等教育学校

2003年に全国初の国際中等教育学校として誕生した。

【公立中等教育学校】

学校数	都道府県数	内 訳
7校	1	新潟
6校	1	東京
3校	2	茨城、愛媛
2校	3	北海道、群馬、神奈川
1校	9	宮城、埼玉、兵庫、岡山、広島、山口、徳島、福岡、宮崎
0校	31	愛知 を含め31府県

# 兵庫県立芦屋国際中等教育学校

文 1の言語版

ページ ノート

閲覧 編集 履歴表示

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

座標:  北緯34度43分27.6秒 東経135度19分7.2秒

 「[兵庫県立国際高等学校](#)」とは異なります。

**兵庫県立芦屋国際中等教育学校**（ひょうごけんりつあしやくさいちゅうとうきょういくがっこう、英語: Ashiya International Secondary School）は、**兵庫県芦屋市**にある公立中等教育学校。2003年に全国初の国際中等教育学校として誕生した。略称は**芦国**（あしこく）<sup>[1]</sup>。

## 概要 [編集]

一般の**中学校**・**高等学校**にあたる前期課程・後期課程の6年間を通じて、異なる言語環境や文化的背景のもとに育った生徒が、能力や適性に応じて弾力的に学ぶ**中高一貫校**であることを特徴に挙げている。

## 教育目標 [編集]

- 言語環境や文化的背景の異なる子どもたちの相互啓発により、共に生きる心をはぐくみ、多文化社会に生きるにふさわしい人間形成を図る。
- 個に応じた指導の充実により、基礎・基本を確実に身につけ、それを基に自ら学び、考え、判断し、行動する力を培う。
- コミュニケーション能力や異なる文化を理解・尊重する態度など豊かな国際感覚を備え、国際社会に貢献できる力を育てる。

## 兵庫県立芦屋国際中等教育学校



国公立の別	公立学校
設置者	 兵庫県
学区	兵庫県全域
校訓	RESPECT（尊敬） INTEGRATION（融和） CONTRIBUTION（貢献）
設立年月日	2003年
創立記念日	11月3日
共学・別学	男女共学
課程	全日制課程
学年制	学年制（前期課程）

## 2. 併設型の中学校・高校

高等学校入学者選抜を行わずに、同一の設置者による中学校と高等学校を接続。

### 兵庫県立大学附属中学校

→兵庫県立大学附属高等学校

## 3. 連携型の中学校・高校

市町村立中学校と県立高校など、異なる設置者間でも実施可能な形態で、中学校と高校が、教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深める形で中高一貫教育を実施。

### 宍粟市立千種中学校→千種高等学校

### 丹波市立青垣中学校→氷上西高等学校

### 丹波市立氷上中学校→氷上西高等学校

#### 【公立併設型】

学校数	都道府県数	内 訳
8校	1	茨城 (※)
5校	3	東京、京都、和歌山
4校	5	岡山、広島、高知、福岡、佐賀
3校	12	秋田、栃木、埼玉、千葉、神奈川、長野、静岡、滋賀、大阪、長崎、熊本、沖縄
2校	5	宮城、福島、徳島、宮崎、鹿児島
1校	12	青森、岩手、山形、群馬、石川、福井、山梨、兵庫、奈良、山口、香川、大分
0校	9	北海道、新潟、富山、岐阜、 <b>愛知</b> 、三重、鳥取、島根、愛媛

※茨城県は、2022年度に10校となる予定。

#### 【公立併設型+公立中等教育学校】

学校数	都道府県数	内 訳
11校	2	茨城 (※)、東京
7校	1	新潟
5校	6	神奈川、京都、和歌山、岡山、広島、福岡
4校	3	埼玉、高知、佐賀
3校	15	宮城、秋田、栃木、群馬、千葉、長野、静岡、滋賀、大阪、徳島、愛媛、長崎、熊本、宮崎、沖縄
2校	5	北海道、福島、兵庫、山口、鹿児島
1校	9	青森、岩手、山形、石川、福井、山梨、奈良、香川、大分
0校	6	富山、岐阜、 <b>愛知</b> 、三重、鳥取、島根

※茨城県は、2022年度に13校となる予定。



# 兵庫県立大学附属中学校・高等学校

文A 1の言語版

ページ ノート

閲覧 編集 履歴表示

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』  
([兵庫県立大学附属中学校](#)から転送)

座標: 北緯34度55分24.2秒 東経134度26分52.9秒﻿ / ﻿北緯34.92333度 東経134.44775度﻿ / 34.92333; 134.44775

**兵庫県立大学附属中学校・高等学校**（ひょうごけんりつだいがくふぞくちゅうがっこう・こうとうがっこう）は、播磨科学公園都市内である兵庫県赤穂郡上郡町光都三丁目に所在し、中高一貫教育を提供する兵庫県立大学の附属中学校・高等学校。兵庫県立大学附属中学校の卒業生は入学試験なしで自動的に兵庫県立大学附属高等学校に入学する併設型中高一貫校<sup>[1]</sup>。兵庫県立大学の附属学校であり、設置者は公立大学法人**兵庫県立大学**である<sup>[2]</sup>。全県学区であるため、県内ならどの小学校又は中学校区に在住していても通学が可能となっている<sup>[3]</sup>。略称は**県大（けんだい）**や、**附属（ふぞく）**など。

## 特徴 [編集]

定員は高校が160名、中学校が70名(2013年度入学生までは40名)である。高校の募集人数は160から(内部進学辞退者がいる場合があるため変動する)附属中学校からの内部進学生を除いた人数になる。

兵庫県立大学に特別推薦制度があり、成績によって進学可能。

学力検査（一般入試）において、県内の公立高校で唯一傾斜配点（「数学」は1.2倍、「理科」及び「英語」は1.15倍、「国語」及び「社会」は0.75倍）されていた。2010年より推薦入試のみになり、面接と適性検査が実施される。

中学校の入試は、**適性検査**・作文・面接によって構成されている。

毎年12月には高校で**数学コンテスト**というイベントが開催され、全校生徒で数学IA、二年生と三年生の生徒で数学IIBの全員共通の問題を解く。また、毎年春に行われる文化祭の1日目には**インター・びーぶる・デイ (Inter People Day)**と呼ばれる英語科の行事も開催され、**レシテーションコンテスト**や**スピーチコンテスト**、各学級と他校の**ALT**との交流などが行われる。このように、学習教科への関心や意欲を高める目的がある学校行事も行われている。

中学校においては毎年7月にはEnglish Speech Festivalというイベントが開催され、各学年の代表がスピーチを行う。また、毎年11月にART FESTIVALという芸術祭が開催される。合唱や劇、文化部による発表や有志発表などが行われる。

高校では**私服**の許可、**昼休み**と**放課後**のみではあるが**携帯電話**の使用許可、また中学校でも通学時の**携帯電話**の所持が許可されているなど、自由な校風である。

## 兵庫県立大学附属中学校 兵庫県立大学附属高等学校



過去の名称	兵庫県立姫路工業大学附属高等学校
国公立別の別	公立学校（県立）
設置者	公立大学法人兵庫県立大学
学区	全県学区
校訓	創造
設立年月日	1994年4月1日（高等学校） 2007年1月1日（中学校）
創立記念日	6月29日
共学・別学	男女共学
中高一貫教育	併設型
課程	全日制課程
単位制・学年制	学年制
設置学科	総合科学科
学期	2学期制
高校コード	28275J
所在地	〒678-1205 中学：兵庫県赤穂郡上郡町光都三丁目11番2号 高校：兵庫県赤穂郡上郡町光都三丁目11番1号 黎明寮：兵庫県たつの市新宮町光都三丁目26番1号



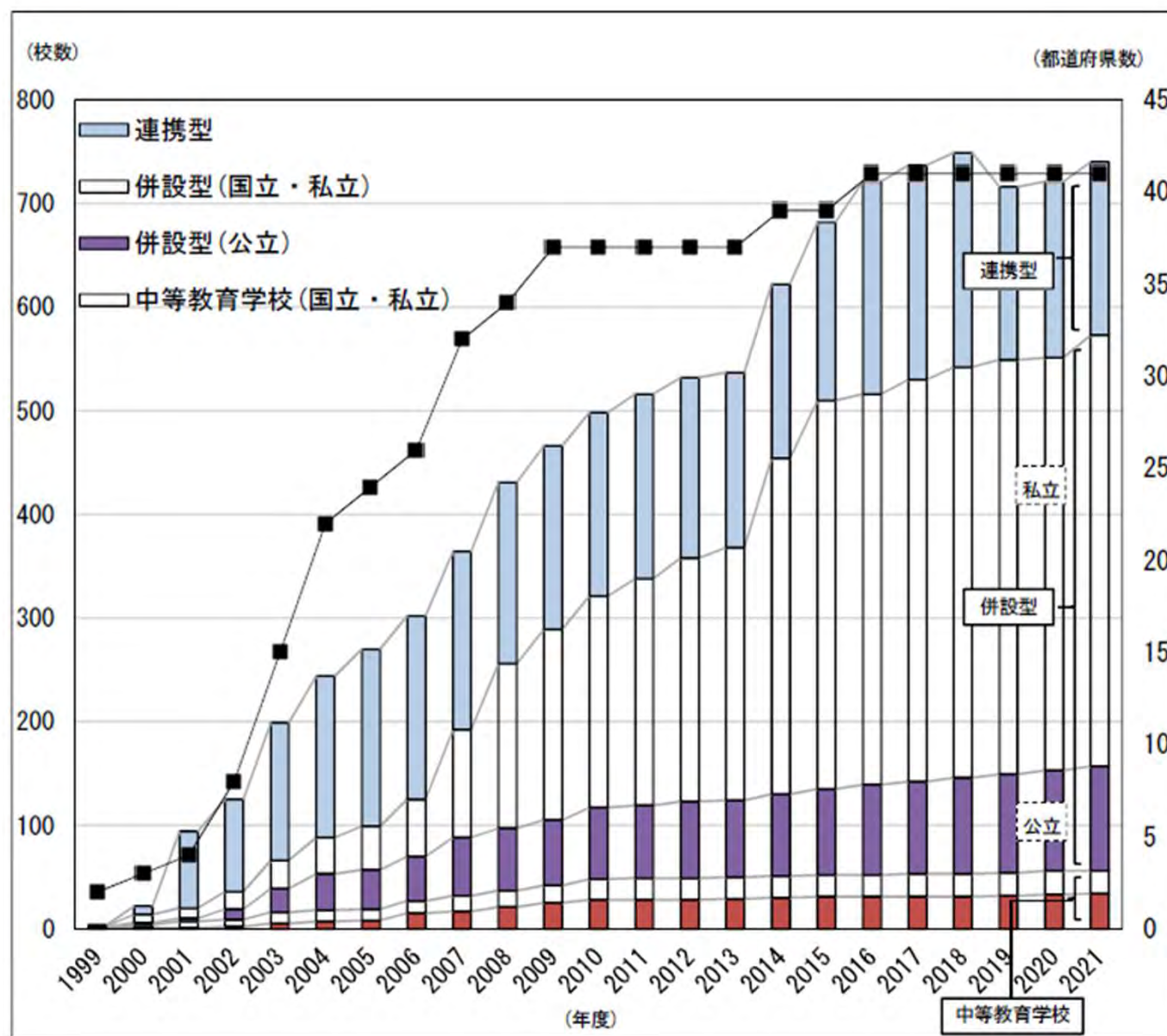
(中高一貫校とは?)

### 全国における中高一貫教育校の設置状況

実施形態別 設置校数の推移(各年度学校基本調査)

併設型を中心に、設置校数が増加傾向。

区 分		1999 年度	2005 年度	2010 年度	2015 年度	2021 年度
併設型	公 立	1	38	69	83	101
	国立・私立	1	42	204	375	416
	小 計	2	80	273	458	517
中等教育 学 校	公 立	1	8	28	31	34
	国立・私立	0	11	20	21	22
	小 計	1	19	48	52	56
連携型	国公私立	1	171	177	172	167
合 計		4	270	498	682	740
併設型・中等教育学校 設置都道府県(公立)		2	24	37	39	41



# 報告の内容

1. 調査の目的
2. Part.1の振り返り
3. 教育先進都市・神戸としてふさわしい教育とは？
4. 中高一貫校とは？
5. 中高6年間一貫教育の魅力と特質とは？
6. 公立中高一貫教育校を立ち上げるために考える大事なこと

## 中高6年間一貫教育の魅力と特質とは？

### ①中高が一貫した継続性と時間的ゆとりを生かした教育活動

⇒中高6年間の継続性と、高校受験にとらわれずにすむ時間的なゆとりを生かして各教科を深く学び、部活動にも思い切り打ち込むことができる(とくに中学校)。

⇒とくに中学時代に、理科実験や体験学習など将来のための多様な経験に時間を費やすことができる。

⇒中学生の段階から、将来の職業選択(自己実現や社会貢献を含めた)も含めたキャリア教育や、ライフデザイン教育を行うことができる。

### ②幅広い年齢層にまたがる多様で親密な人間関係

⇒同級生や近い年齢の先輩・後輩だけでなく、自分を中心に上下5学年にわたる幅広い人間(先輩・後輩)関係を築くことができる。

⇒縦割りで競い合う行事(体育祭など)や生徒会などでリーダーシップを取る先輩の姿を見て、自身の目標やロールモデルにすることができる。

⇒様々な専門性や個性を持つ先生との触れ合いによって、学問的・人間的な刺激を受けることができる。

## 中高6年間一貫教育の魅力と特質とは？

### ③一貫した理念・方針のもとで行われる「大学進学準備教育」

⇒大学受験・進学までを見通すことのできる教員が中学入学時から高校卒業時までの6年間の教育内容を組み立て、工夫することができる。

⇒高等教育(大学や大学院)での学問・研究につながる基礎学力や、さらには社会に出たときに求められる力を育てるための教育プログラムを中学時から導入することができる。

### ④中高の連続したカリキュラムの工夫

⇒中学と高校それぞれの「学習指導要領」に基づく検定教科書には、もともとかなりの割合で重複する内容があるといわれる。それを効率的・有機的に整理・再編した独自のカリキュラムを組み立てることができる。

⇒教科の融合や、他教科でも関連性のある事柄を同時に学ぶことで、より深く広範に生徒の理解や知識の定着を促すことができる。

## 中高6年間一貫教育の魅力と特質とは？

### ⑤多感な13歳～18歳の成長期における継続した教員の指導やサポート

⇒共通の理念や教育方針のもと、教員が6年間担任持ち上がりや複数担任制など各校の工夫のもとで、生徒の学力的・人間的な成長をじっくりと見守り育てていくことができる。

⇒(私学では原則として)転勤のない教員が、中高6年間はもとより卒業後も在職していただけることで、大学や社会に巣立ってから、母校を訪ねれば相談に乗ってもらったり、アドバイスを受けることができる。

⇒中高が連続していることで生まれる「中だるみ」の時期も、多感な年代にさまざまなことに悩み考え、成長するための貴重なインターバルの時期として大らかに見守ってもらえる。

### ⑥独自の入試選抜による入学者からの理解・賛同を得ての自由な教育展開

⇒中高6年間の教育姿勢やカリキュラムを反映した“学校の顔”として、独自の個性的な入試問題や入試形態を工夫することができる。

⇒独自の理念・教育姿勢に賛同する家庭の受験生が集うことで、合格～入学した生徒と保護者から、在学中の教育展開や工夫に賛同・協力してもらうことができる。

⇒独自のアドミッション・ポリシーに基づく出題や入試形態で受験者の資質や学力を試すことで、「こういう力を持った子どもに入学してほしい」という学校側の想いと「こういう教育(入試)を行う中高一貫校に進学したい」という受験生側の想いのマッチングを図ることができる。

## 公立中高一貫校のデメリット

私立校と公立中の良い部分を併せ持ったイメージのある公立中高一貫校には、長所しか無いようにみえますが、デメリットはあるのでしょうか。

### 倍率が高く、不合格の可能性も高い

公立中高一貫の人気は非常に高くその倍率は約5倍、人気校では6～7倍となることも珍しくありません。公立中高一貫校は1人1校しか受検することができないため、お子さまにとって厳しい選抜となる覚悟が必要となります。

### 志望校の選択肢が限られる

東京都の場合、都内の私立中学が約180校あるのに対し、公立中高一貫校は11校しかありません(神奈川県は5校、千葉県は3校、埼玉県は3校。2021年現在)。学校の数が少ないため、通学時間などを考慮すると志望校の選択肢が限られるという側面があります。

### 中だるみの心配がある

公立中高一貫校では高校受験がないため緊張感が薄れ、中には学習へのモチベーションを維持できない生徒も出てくる可能性があります。

そのため学校によっては、中だるみを防ぐために校外模試を受けさせたり、中学卒業時に卒業論文を課したり海外研修するなど、生徒の気を引き締めるための対策を講じている。



# 公立中高一貫校が誕生するきっかけ

1980年代後半に入ると、東大合格者ランキングで、それ以前に都立ナンバースクールが上位を占めていた時代に代わって、私立・国立の中高一貫校が数多く上位を占めるようになってきたことから、「大学受験における中高一貫校の優位性」に注目が集まり、「中学受験ブーム」ともいえる受験熱の高まりが顕著になりました。

公立中高一貫校は、1999年文部科学省が学校教育法を一部改正し、中学校・高等学校の中等教育を一貫とする教育を選択的に導入することが出来るようになり、全国に500校の設立目標に誕生した学校です。設立の目的は、従来の中学校・高等学校制度に加えて、6年間の一貫した教育課程や学習環境の下で学ぶ機会を選択できるようにすることで、教育の多様化を推進し、生徒一人一人の個性をより重視する教育を目指すものとしています。

各校の教育理念・生徒像については、ニュアンスの違いはありますが「次世代のリーダー」を育むことを掲げ、一般の公立中学校・高等学校とは異なるカリキュラムを組むことが認められています。これにより、中高で重なる履修範囲のある歴史分野などは一本化して再編するなど、広く深く学習することが可能になりました。

## 中学入試 35年史



受験者は首都圏の数 (首都圏模試センター制作)

# 首都圏における公立中高一貫校の受検者

## 2021年入試/公立中高一貫校の 入試(適性検査)状況 《※一部推定》

●志願者	18,852名	(△ 645名)
●受検者	18,207名	(△ 605名)
●合格者	3,840名	(△ 440名)
●不合格者	14,367名	(△ 165名)

## 東京都南多摩中等教育学校の大学合格実績の推移

### 2 私立大学現役のみ

私立大学	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	計
早稲田大学	36	15	25	17	56	26	14	189
慶應義塾大学	18	10	11	7	10	14	9	79
上智大学	22	4	8	11	25	9	6	85
東京理科大学	27	26	23	11	14	13	16	130
国際基督教大学	3	1	0	0	1	0	1	6
明治大学	66	46	48	27	32	38	24	281
青山学院大学	21	23	18	11	16	19	13	121
立教大学	36	22	20	10	27	16	19	150
中央大学	61	35	26	29	22	21	19	213
法政大学	28	31	34	34	30	31	13	201
学習院大学	4	4	0	2	2	1	3	16 <sup>42</sup>

公立中高一貫校の入試は適性検査

教科型(4科・2科)入試

適性検査型(非教科型)入試

2024年度以降の大学入試

# 適性検査とは、知識を問わない入試

(文部科学省資料より)

公立中高一貫教育校も税金によって運営されている学校であればこそ、一部の国民だけに恩恵を与え優遇するような制度は極力排除しなければならないことは当然であり、少なくとも学校選択の機会を実質的に平等に与えられていなければなりません。しかし、学校選択の入り口において、**学力検査という新たな負担を課して子どもたちの入り口規制を行えば、公立中高一貫教育校に学ぶ子どもたちと一般の公立中学校に学ぶ子どもたちとの間で、学習環境の面でも、また、優越感や劣等感などの意識や意欲の面でも深刻な格差を生じ、それを後々まで引きずることになります。**

その意味で、公立中高一貫教育校の入学者選抜において「**学力検査を行わない**」としたことは、制度創設の趣旨を象徴的に示したものと考えます。もちろん、公立の中高一貫教育であれば、公立学校という立場を十分に踏まえてそれぞれの学校は設置されたはずであり、学校の成り立ちや費用負担の面で全く異なる私立中高の学校運営やカリキュラムだけを安易に模倣し追随するようなことがあるとすれば、それは自らの存在意義や担うべき役割を否定するだけでなく、多くの納税者や国民の理解は得られないと認識すべきです。

# 適性検査の具体的な内容は？

変換操作	全体関係	変容 3	A3	B3	C3
複雑操作	カテゴライズ	複雑 2	A2	B2	C2
手順操作	単純関係	単純 1	A1	B1	C1
(数)	(言語)		A 知識・理解思考	B 論理的思考	C 創造的思考
			知識・理解	応用・論理	批判・創造

適性検査 A	複数の文章を読み取る力や自分の意見を表現する力をみる問題（読解＋作文 440 字）
適性検査 B	図、資料を読み取る力、読み取った情報を考察し、課題を総合的に解決する力をみる問題（総合・算理社）
適性検査 C	複数のデータを客観的に分析し、数的処理を通じて論理的に考察する力をみる問題（総合・算理）
適性検査 D	資料や文章などを読み取る力や自分の意見を表現する力をみる問題（読解＋作文 350 字、総合・社）
適性検査 E	日常の経験や学習を通じて身につけたことを活用し、的確に判断する力や結論を導き出す力をみる問題（総合・生活）

1 なぎさんとりくさんは紙飛行機で遊んでいます。

なぎ：紙飛行機は形を変えると、飛び方がいろいろ変わるね。

りく：生き物にも飛ぶことのできる生き物があるよね。

なぎ：鳥や虫がそうだね。どうやって飛んでいるのかな。

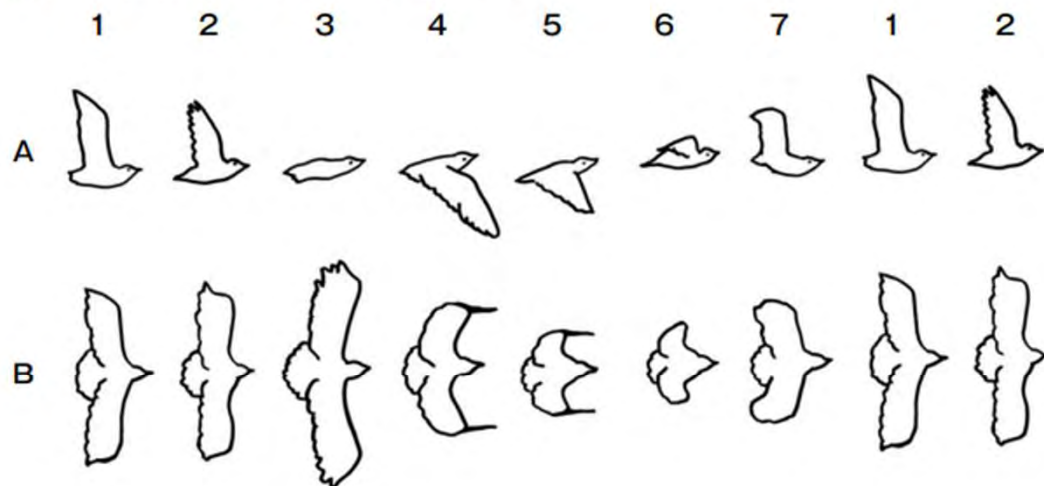
りく：カモメを観察してみよう。つばさを上下に動かしているね。

なぎ：ただつばさを上下に動かしているだけではなさそうだよ。

りく：カモメの飛び方をビデオでさつえいして、ゆっくり再生して見てみよう。

なぎ：つばさを大きく広げたり、つばさを小さく折りたたんだりして、つばさの形を変えているね。なぜだろう。

図1 カモメが飛ぶときのつばさの動かし方



※Aはカモメを横側から、Bはカモメを背中側から見た姿を図で表したもので、つばさを動かす順番に並べています。AとBの縦に並ぶ図は、同じしゅん間のカモメの姿の図です。

(東昭「生物の動きの事典」より作成)

(問題1) 図1から、カモメが飛ぶときには、つばさを大きく広げたり、小さく折りたたんだりする様子が分かります。つばさを大きく広げるのはどのようなときですか。その理由についてあなたの考えを説明しなさい。

なぎさんとりくさんはチョウの飛ぶ姿を見るために、動物園内のチョウが見られる場所に来ています。

なぎ：種類によって飛び方がちがうね。

りく：この大きなチョウはオオゴマダラといって、日本で最も大きいはねをもつチョウの一種だよ。こちらの少し小さいのはイシガケチョウだね。

なぎ：オオゴマダラは、はねを広げたときに全体のはばが12cmくらいだね。イシガケチョウは7cmくらいだね。

りく：オオゴマダラとイシガケチョウでは飛び方がちがうね。カメラを固定して飛び方をさつえいしてみよう。

なぎ：家に帰って、飛んでいるときの様子を調べられるね。

りく：だいたいいつも同じような飛び方をしているね。何度かさつえいしたものの中から、チョウが約1.5mおおよそ横向きに動いているものを選んでゆっくり再生しながら、それぞれのチョウが飛んだところを線でなぞってみたよ。図2のグラフの縦方向は高さ、横方向はチョウが横に移動したきよりを表しているよ。

なぎ：点は0.25秒ごとにチョウがいた場所を表しているね。

りく：点の間かくをよく見るとちがいがあがあるね。

(適性検査出題例)

# 報告の内容

1. 調査の目的
2. Part.1の振り返り
3. 教育先進都市・神戸としてふさわしい教育とは？
4. 中高一貫校とは？
5. 中高6年間一貫教育の魅力と特質とは？
6. 公立中高一貫教育校を立ち上げるために考える大事なこと



公立中高一貫教育校を  
立ち上げるために考える大事なこと

## 東洋大学参与 石坂康倫 先生

元日比谷高校校長

元都立桜修館校長(公立中高一貫校)



1点目として立ち上げ理由を明確にすることが大事。

兵庫県の場合には県民にとっての要望が高いこと、神戸市の場合には市民の要望が高いことが調査などによって明らかにさせることだと思います。

2点目に、メリットが大事。

神戸市に中高一貫教育校を作ることによってどれだけのメリットがあるかということ。

東洋大学参与 石坂康倫 先生  
元日比谷高校校長  
元都立桜修館校長（公立中高一貫校）

## 3点目は、どのような学校にするかです。

例えば、

- ・神戸市や兵庫県には中高一貫教育校が他の都道府県と比べて少ない。
- ・これからの日本において有益な人材を育成する手段の一つとして、6年間を通じての中高一貫教育を行うことは不可欠である。
- ・一般の中学校、高等学校とは異なり、教養教育を行い、学ぶ姿勢や高い志を持った生徒を兵庫県(神戸市)として教育委員会と学校との協力で6年間に渡り行うことで、兵庫県屈指(神戸市屈指)の人材を育成することができる。更には、神戸高校と競い合える学力を持った生徒を育成することで、東京大学や京都大学、或いは海外の大学(ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学など)に進学する生徒たちがこれまで以上に誕生すると考えられる。

東洋大学参与 石坂康倫 先生  
元日比谷高校校長  
元都立桜修館校長（公立中高一貫校）

## 4点目は、具体的な内容です。

- ・学校の教育目標・目指す教育・目指す生徒像・目指す学校像
- ・いずれかの学校を改編するのか、或いは土地を取得し建物を新規に作るのか
- ・設置するための予算
- ・校舎・校庭・施設設備
- ・学校の規模(生徒数とクラス数など)
- ・開設準備に必要な教員や指導主事等の配置
- ・1年目から6年目までの旧職員人数とメンバー
- ・校名・校歌・校章・制服の有無(制服の場合にはその選定)
- ・カリキュラム編成(これがとても重要です)

## 5点目は広報活動と地域住民の理解などです。

東洋大学参与 石坂康倫 先生  
元日比谷高校校長  
元都立桜修館校長（公立中高一貫校）

- ・地域住民に対する説明会（目的や通学路や住民の不安解消など）
- ・地域住民に対する建設工事期間等の説明会
- ・各小学校や地域の人たちへの学校説明会
- ・担当教育委員会からの小学校への周知
- ・既設校を改編する場合には、在校性と在校生保護者に対する説明会
- ・既設校を改編する場合には、卒業生に対する説明会
- ・教師の労働組合や校長会の調整や理解を深める活動

このような理解を得て地域住民や卒業生から期待され応援していただくために、可能な限り具体的にまた丁寧に説明することが大切であると思います。